

はじめに

水道は、健康で快適な日常生活をはじめ各種の産業活動の発展や都市機能を維持するために欠かすことのできない社会基盤施設として、重要な役割を担っています。

本県の水道は、水道事業者をはじめ関係者各位のたゆまぬ努力のもと、平成16年度末時点で99.1%と、大変高い普及率を達成しています。

一方で、今後まもなくわが国の人口は減少に転じることから、水需要の低迷に伴う収益減による経営の悪化、老朽化した施設の更新や近い将来の発生が危惧される大地震対策としての施設の耐震化等をはじめ、技術者の高齢化、市町村合併、水道水質に対する需要者ニーズの高まり等の問題に直面しており、水道事業を取り巻く環境は大変厳しい時代を迎えようとしています。

こうした状況に対応するため、平成16年6月に厚生労働省から「水道ビジョン」が公表され、21世紀の中頃を見通しつつ、概ね10年間を目標期間とした長期的な政策目標が示されました。また、各水道事業者においても、それぞれの事業の現況分析・評価を行い、その上で将来目標を設定し、その実現に向けた具体的な施策を位置付けた「地域水道ビジョン」の策定が推奨されているところです。

三重県としましても、このような水道事業を取り巻く環境を考慮しながら、経営基盤の強化につながる水道事業の広域化、水道水源の水質保全、渇水対策や風水害、震災等の災害対策及び健全な水循環の構築等について、水道事業者や県民の皆様と協力しながら積極的に取り組んでいきたいと考えております。

このたび、水道事業者並びに関係者各位のご協力により「平成16年度三重県の水道概況」を作成しました。ご協力をいただきました皆様に厚く御礼申し上げますとともに、本書が水道事業推進の一助となれば幸いに存じます。

平成18年3月

三重県環境森林部水質改善室長
落合 厚仁